

今年、津市は合併から10年目を迎えます。そこで市民の皆さんに10年後の自分や家族へのメッセージをお伺いしました。

鈴木美佳さん (河芸町浜田)

2年前の自分には、今の私が社会人となって生活しているとは想像もしていなかったように、10年後の私が何をしているか、まったく想像が付きません。また、人として成長できているのか、そして、周りの人を大切にできているのか心配になります。これから不安になることもあると思うけど、頑張ってください。



中島寛太さん (一志町波瀬)

自分は10年前に始めたことが2つあります。一つは狩猟です。犬を連れて狩りに出掛けると、普段の生活では感じられない瞬間に出会えます。もう一つはアームレスリングです。全国大会で準優勝ができるまでにはなれました。10年後、狩猟では田畑を荒らす有害鳥獣の駆除で地域の人々に貢献し、アームレスリングでは全国優勝して、さらに世界を目指したいです。

渡邊敏和さん (美杉町下之川)

高齢化が進むこの地域の中で何か役に立ちたいと思い、飽き性も手伝って今の仕事を始めて8年になります。「便利屋」という言葉はあまり好きではありませんが、皆さんからの「ありがとう、助かります」という言葉に励まされています。10年後も、今の10分の1しかできなくても続けていられたらと思っています。健康で、ちょっとおしゃれな明るい老人になりたいと願っています。



増井公生さん (美里町家所)

10年後は、元気でいれば喜寿を迎えます。今はまだ現役で大工をしています。そして、美里ジャンボ干支もみんなで作っています。毎年多くの皆さんがお正月にジャンボ干支を見に来ていただいて、ありがたいと思っています。健康に気を付けて、10年後も仕事と干支作りができるよう、頑張るぞ。

木下美佐子さん (香良洲町)

香良洲町に移り住んで地域活動を始めて、平成27年で15年。地域福祉のUD活動、健康づくりにと地域の皆さんに助けられ、深く関わりながら本当に楽しくやってくることができました。変わりなく過ごせることのありがたさにも気づき、10年後もその思いを基盤に、好きな地域の皆さんと共に楽しく活動していることでしょう。

